

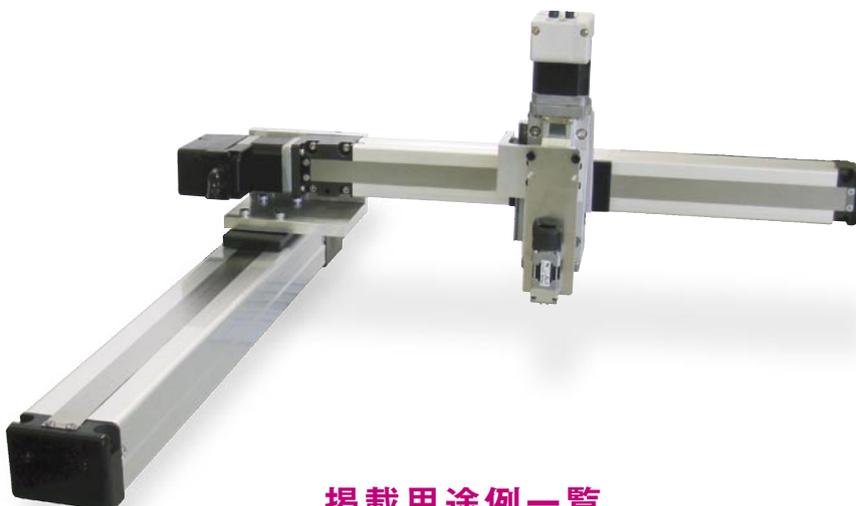
今までになかった“誰もが使える”サーボシステム

サーボ治具 “電動カラクリ” 用途例集

ダイアディックシステムズのサーボ治具は、ロボットと同等の機能でコストは半分以下で導入できます。

サーボ治具は電動シリンダとかんたんコントローラ（CTC-67/CTC-77）で構成され、立上げ時間の最短化とコストの最小化が実現できます。

単純作業の合理化、試作品の開発、試験機やテスト機の導入に大いに威力を発揮します。



掲載用途例一覧

- ① 厚み方向寸法計測 (P1)
- ② ワークの寸法計測と振り分け (P1)
- ③ 無人搬送車の充電用端子の自動伸縮機構 (P2)
- ④ 無人搬送車の牽引用フックの駆動 (P2)
- ⑤ 穴あけ用ドリルの上下動作 (P3)
- ⑥ ワークの押付位置出し、固定装置 (P3)
- ⑦ 容器内の空気抜きと密閉作業 (P4)
- ⑧ モータータへの塗布装置 (P4)
- ⑨ シートやパネルの貼り付け動作 (P5)
- ⑩ ワークの識別と開閉扉の昇降 (P5)
- ⑪ 多面付けワークへの印字用途 (P6)
- ⑫ ワーク圧入動作 (P6)
- ⑬ 接着剤塗布用途 (P7)
- ⑭ プレート位置の変更用途 (P7)
- ⑮ ワーク洗浄用途 (P8)
- ⑯ ローダー/アンローダー用途 (P8)
- ⑰ ハンダ付け用途 (P9)
- ⑱ パレタイズ用途 (P10)



特殊な言語を使わない アイコンプログラミング

8 軸コントローラ

タッチパネル操作可能



CTC-67 / 77



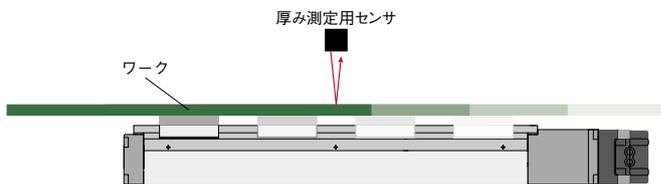
タッチパネル

使用例

1

厚み方向寸法計測

ワークを定寸動かし厚み測定用センサーに計測開始信号を出力、計測完了後 再度 定寸動かし計測、ワークの端から端までの繰り返し測定をする。



プログラミング工数
約 **10分**

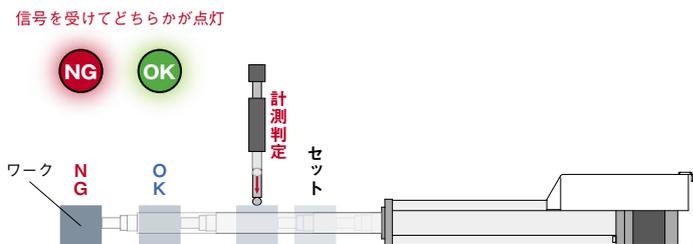
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0					GO	GO			ホームポジション(ポイント0)へ、測長器への信号OFF
01	1					GO	GO			定寸送り(ポイント1:ピッチ動作設定)後、設定時間待ち、その後測長器に開始信号出力
02	0					GO	GO			設定時間待ち、その後測長器への信号OFF
03	0					GO	GO			指定回数の繰り返し(工程01へ)
04	0					STOP	STOP			

2

ワークの寸法計測と振り分け

ワークを計測個所まで移動し 寸法計測。寸法が、OK/NG により 振り分け処理をする。



プログラミング工数
約 **15分**

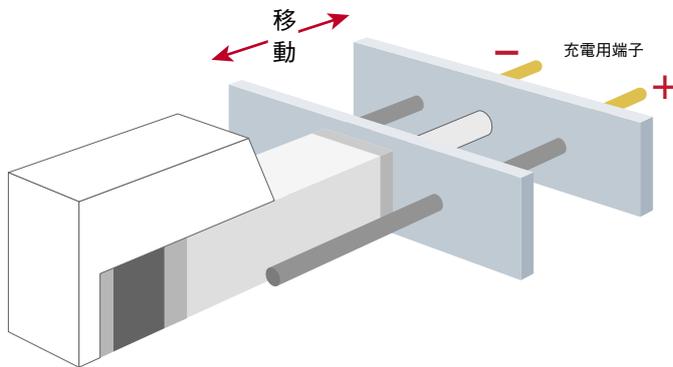
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0					GO	GO			ワークをセットしたら、スイッチON
01	1					GO	GO			シリンダは、計測個所(ポイント1)へ移動後、測長器ON
02	0					GO	GO			計測の待ち時間設定
03	0					GO	GO			測長器からの「ON」信号なら次工程へ、「NG」信号なら工程07へ
04	2					GO	GO			シリンダは「OK」個所(ポイント2)へ移動後、「OK」点灯
05	0					STOP	STOP			シリンダはホームポジション(ポイント0)へ移動して終了
06	0					GO	GO			
07	3					GO	GO			シリンダは「NG」個所(ポイント3)へ移動後、「NG」点灯
08	0					STOP	STOP			シリンダはホームポジション(ポイント0)へ移動して終了

3

無人搬送車 (AGV) の充電用端子の自動伸縮機構

無人搬送車が所定の充電場所に停車したら、充電用端子が伸縮し、自動充電を行います。



プログラミング工数
約 **10分**

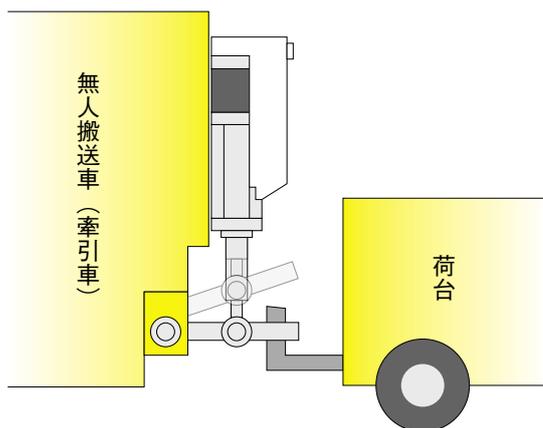
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0						GO			プログラム0:ロッドを縮める(ポイント0)
01	0						STOP			
02	0									
03	1						GO			プログラム1:ロッドを伸ばす(ポイント1)
04	0						STOP			

4

無人搬送車 (AGV) の牽引用フックの駆動

無人搬送車の牽引用フックの上下駆動をさせます。



プログラミング工数
約 **10分**

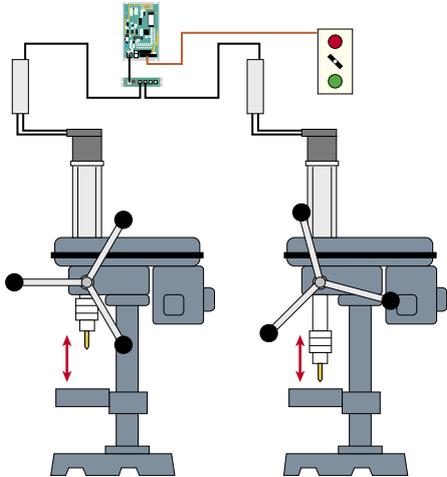
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0						GO			UP信号がON(IN0=ON)なら次工程へ、OFF(IN0=OFF)なら工程03へ
01	1						STOP			牽引用フックを下降(ポイント1)
02	0									
03	0						STOP			牽引用フックを上昇(ポイント0)
04	0						STOP			

5

穴あけ用ドリルの上下動作

1台目が自動で穴をあけている間に、2台目のワークの準備をします。1台目の穴あけが終了したら、スイッチを切り替えて2台目の穴あけを開始し、その間に1台目のワークの準備をします。



プログラミング工数
約 **15分**

▼CTC プログラム

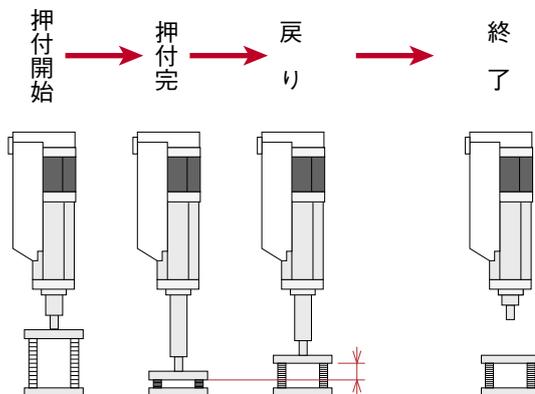
工程	ポイント	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0							GO			待機位置、ポイント0:-10mm 50mm/sec
01	1										ワークに穴開け、ポイント1:-30mm 3mm/sec
02	2										少し戻る、ポイント2:-29mm 10mm/sec
03	3										ワークに穴開け、ポイント3:-35mm 3mm/sec
04	0							STOP			待機位置に戻る、ポイント4:-10mm 50mm/sec
05	0										
06	0							GO			待機位置、ポイント0:-10mm 50mm/sec
07	5										ワークに穴開け、ポイント5:-25mm 3mm/sec
08	6										少し戻る、ポイント6:-24mm 10mm/sec
09	7										ワークに穴開け、ポイント7:-28mm 3mm/sec
10	0							STOP			待機位置に戻る、ポイント0:-10mm 50mm/sec

6

ワークの押付位置出し、固定装置

バネが2枚の金属板で挟まれているワーク。

- ①メカシリンダでバネが縮む方向に金属板を押付け ②押付け停止した位置から 0.2mm 浮かした位置で金属板を位置決め
- ③金属板のネジ締め固定終了後 手動スイッチを「ON」することでシリンダがスタート位置に戻り作業終了。



プログラミング工数
約 **10分**

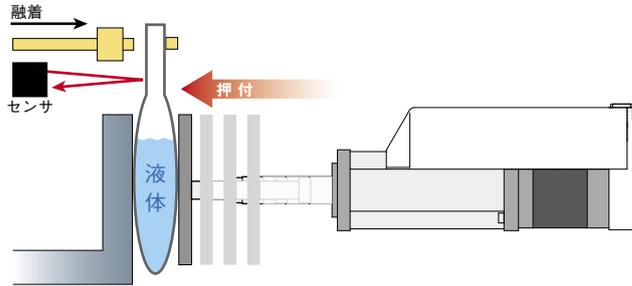
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0						GO			待機位置の確認
01	1									押付動作
02	2									押付完了位置より 0.2mm 戻り(相対移動)、入力信号(IN)のON信号待ち
03	0						STOP			待機位置まで移動

7

容器内の空気抜きと密閉作業

メカシリンダは柔軟性のある容器を押付けながら容器内の空気を抜き、センサが液面を検出した位置で停止、融着装置で容器の口を封止する自動工程。



プログラミング工数
約 10分

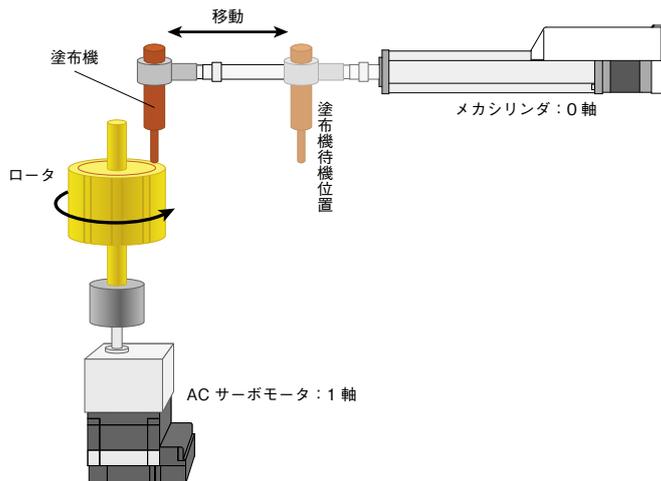
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0						GO			ILKをON
01	1									容器を押付、センサ信号ONで停止(ILK:OFF)
02	0									融着装置をON
03	0									融着装置からの完了信号を受信後、ILKをON
04	0						STOP			待機位置へ移動

8

モータロータへの塗布装置

- ①スタートスイッチを ON すると、メカシリンダが待機位置(ポイント0)から塗布位置(ポイント1)へ移動
- ②塗布機への塗布開始信号を出力(OUT1:ON)したら、ロータを取り付けたサーボモータがゆっくり1回転(ポイント1:相対移動)
- ③サーボモータが1回転終了すると、塗布機へ塗布停止出力(OUT1:OFF)を出力し、液だれ防止の為1秒待機後、メカシリンダが待機位置(ポイント0)も戻り終了



プログラミング工数
約 10分

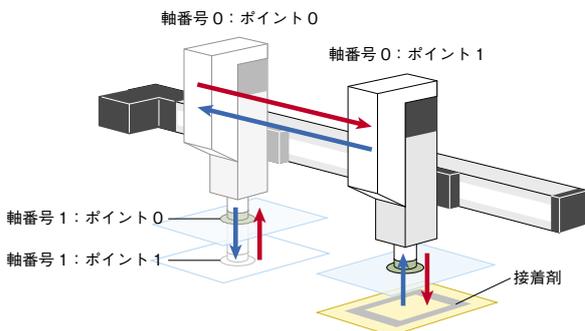
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0							GO			シリンダ、サーボモータは待機位置(ポイント0)へ
01	1										シリンダが塗布位置(ポイント1)へ移動後、塗布機へ塗布開始信号
02	1										サーボモータをゆっくり1回転(ポイント1)させたら、塗布機へ塗布停止信号
03	0										待機1秒
04	0							STOP			

9

シートやパネルの貼り付け動作

樹脂のシートをメカシリンダで吸着し、そのまま横方向に移動。その後、粘着剤が塗布してあるワークに樹脂のシートを圧着します。



プログラミング工数
約 **15分**

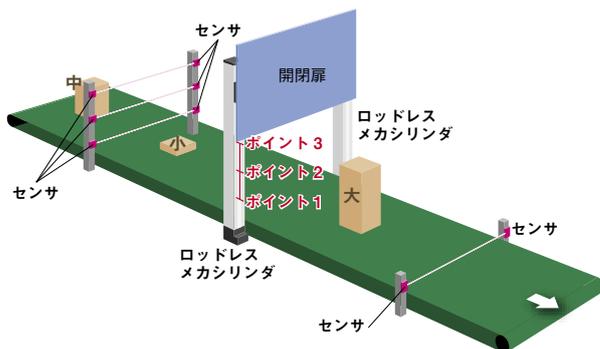
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0							GO			ホームポジション
01	1										下降(ポイント1)して、吸着(OUT0=ON)
02	0										0.5秒待機
03	1										上昇(ポイント0)
04	1										横移動(ポイント1)
05	1										下降(ポイント1)して、リリース(OUT0=OFF)し、圧着
06	0										0.5秒待機
07	0										上昇(ポイント0)
08	0							STOP			横移動(ポイント0)

10

ワークの識別と開閉扉の昇降

コンベア上を流れてくるワークをセンサーで識別し、ワークの大きさに合わせて扉を開閉位置を可変します。



プログラミング工数
約 **20分**

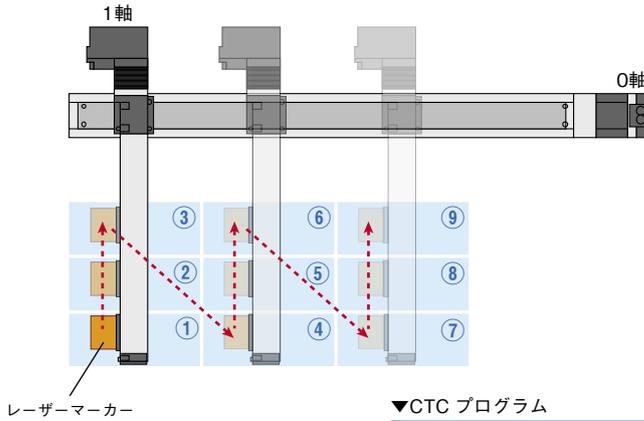
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0							GO			ホームポジション
01	0										ワークが「小」なら次工程02へ、「小」以外なら工程04へ
02	1										ロッドレスメカシリンダをポイント1へ移動後、ワーク通過の確認
03	0										ロッドレスメカシリンダをポイント0へ
04	0										
05	0										ワークが「中」なら次工程06へ、「中」以外なら工程08へ
06	2										ロッドレスメカシリンダをポイント2へ移動後、ワーク通過の確認
07	0										ロッドレスメカシリンダをポイント0へ
08	0										
09	0										ワークが「大」なら次工程10へ、「大」以外なら工程12へ
10	3										ロッドレスメカシリンダをポイント3へ移動後、ワーク通過の確認
11	0										ロッドレスメカシリンダをポイント0へ
12	0										
13	0							STOP			

11

多面付けワークへの印字用途

レーザーマーカを最初の印字位置まで移動させ、印字指令を出力します。
 印字後、多面付けワークの0軸方向、1軸方向のピッチ寸法に合わせて、繰返しレーザーマーカを移動、印字させます。



プログラミング工数
 約 **15分**

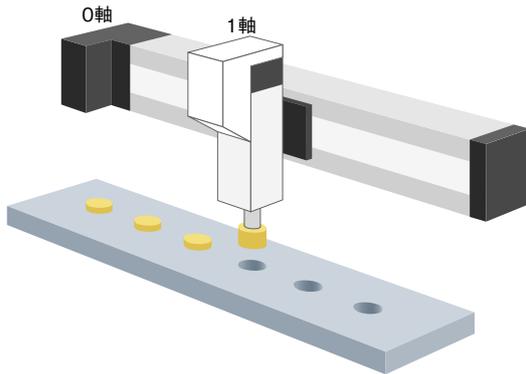
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0							GO			ホームポジション
01	1										最初の印字位置へ移動
02	0										レーザーマーカへ20msオン信号を出力(印字開始)
03	0										レーザーマーカからの印字完了(信号待ち(印字終了))
04	2										Y軸を相対移動したら、工程02へ戻る(2回繰り返し)
05	1										Y軸を最初の印字位置へ移動
06	2										X軸を相対移動したら、工程02へ戻る(2回繰り返し)
07	0							STOP			プログラム終了

12

ワーク圧入動作

0軸方向に開けられた穴にワークを圧入していきます。垂直軸のメカシリンダがワークを吸着し、所定の位置でワークを圧入します。



プログラミング工数
 約 **15分**

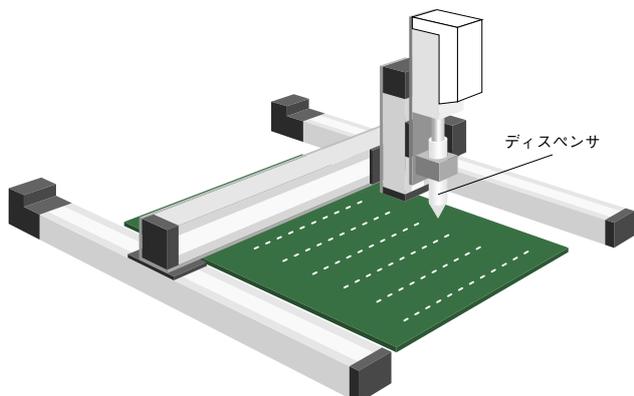
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0							GO			ホームポジション
01	1										ワーク供給位置へ
02	2										
03	0										ワーク掴みサブプログラムへ
04	2										
05	0										圧入サブプログラムへ
06	2										5回繰り返し
07	1										ワーク掴みサブプログラム
08	1										
09	0							STOP			
10	1										ワーク圧入サブプログラム
11	0							STOP			
12	0							STOP			

13

接着剤塗布用途

基板へ破線状に接着剤を塗布していきます。



プログラミング工数
約 **20分**

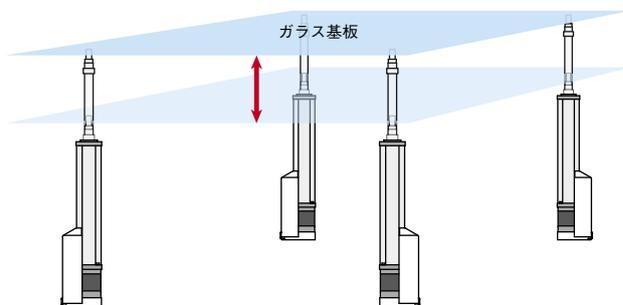
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	作動軸	作動軸	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0	[3]	[4]	[2]							GO			Z軸、充填シリンダ：ホームポジションへ
01	0	[0]	[1]	[2]										X1、X2、Y軸：ホームポジションへ
02	1	[0]	[1]											
03	0													
04	0													充填サブプログラムへ
05	2	[2]												Y軸10回繰り返し
06	0													
07	2	[0]	[1]											X1、X2軸5回繰り返し
08	0													
09	0													
10	0	[3]	[4]	[2]										移動軸H-無ポジションへ、終了
11	0	[0]	[1]	[2]							STOP			
12	0													
13	1	[4]												
14	0	[3]									STOP			サブプログラム終了

14

プレート位置の変更用途

全てのメカシリンダのロッドが同じ動作をし、ガラス基板を垂直に搬送します。



プログラミング工数
約 **15分**

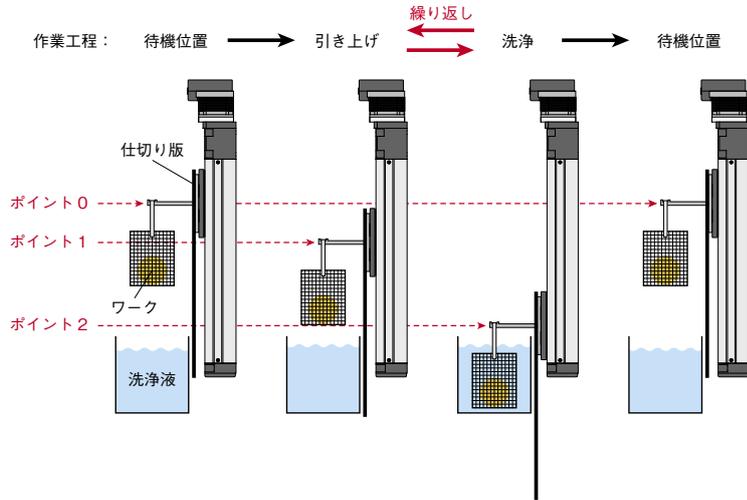
CTC プログラム▶

工程	ポイント	作動軸	作動軸	作動軸	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0	[0]	[1]	[2]	[3]						GO			4軸が同時に下降端(ポイント0)へ移動します。
01	1	[0]	[1]	[2]	[3]									4軸が同時に中間点(ポイント1)へ移動します。
02	2	[0]	[1]	[2]	[3]									4軸が同時に上昇端(ポイント2)へ移動します。
03	1	[0]	[1]	[2]	[3]									4軸が同時に中間点(ポイント1)へ移動します。
04	0	[0]	[1]	[2]	[3]						STOP			4軸が同時に下降端(ポイント0)へ移動します。

15

ワーク洗浄用途

外部から入力信号を受けるまで、籠を上下させてワークを洗浄させます。



プログラミング工数
約 **10分**

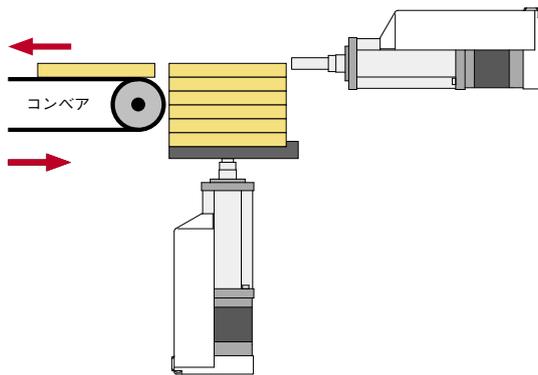
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0	[Motor Icon]					GO			ホームポジション
01	1	[Motor Icon]						[Up Arrow]		中間点(ポイント1)へ移動
02	2	[Motor Icon]		[IN]						最先端(ポイント2)へ移動後、IN0の信号がONになるまで工程01へ戻る
03	0	[Motor Icon]					STOP			待機位置(ポイント0)へ戻り、終了

16

ローダー/アンローダー用途

下からワークを一枚ずつ押し上げ、そのワークを横から押して、コンベアに移動させます。



プログラミング工数
約 **15分**

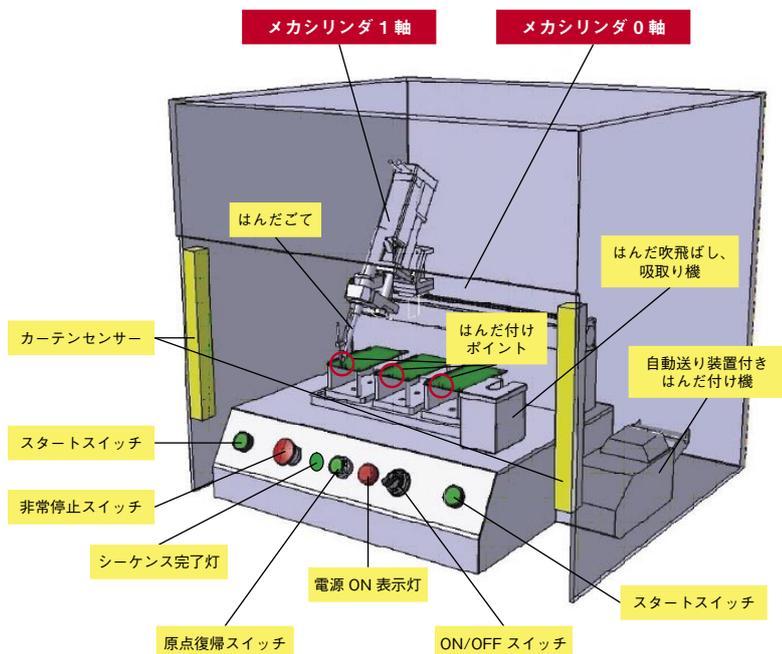
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0	[Motor Icon]	[Motor Icon]					GO			ホームポジション
01	0	[Motor Icon]	[Motor Icon]						[Up Arrow]		
02	1	[Motor Icon]	[Motor Icon]								ワークワーク送り出し
03	0	[Motor Icon]	[Motor Icon]								
04	1	[Motor Icon]	[Motor Icon]								ピッチ送り設定: ワークレイ上昇
05	0	[Motor Icon]	[Motor Icon]								5回繰り返し
06	0	[Motor Icon]	[Motor Icon]								
07	0	[Motor Icon]	[Motor Icon]					STOP			

17

ハンダ付け用途

スタートSW がONでハンダ付け位置へ移動、自動でのハンダ供給、この動作を繰り返し(ワークは3個、ハンダ付け箇所は各3カ所)、ハンダ付け終了で待機位置へ移動し終了ランプが点灯します。



プログラミング工数
約 **20分**

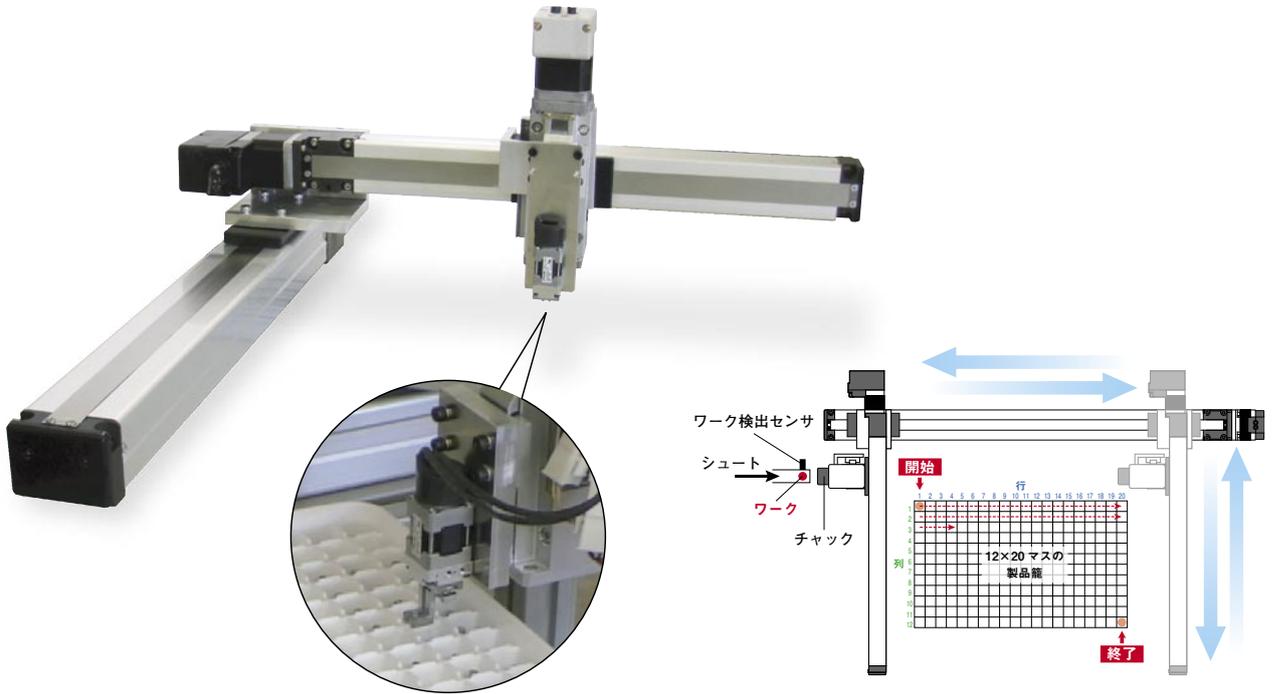
▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0							GO			ホームポジション
01	0							STOP			
02	0							GO			
03	1										工程15へ(洗浄と吸引)
04	2										工程18へ(ハンダ付け)
05	3										工程18へ(ハンダ付け)
06	1										工程15へ(洗浄と吸引)
07	4										工程18へ(ハンダ付け)
08	5										工程18へ(ハンダ付け)
09	1										工程15へ(洗浄と吸引)
10	6										工程18へ(ハンダ付け)
11	7										工程18へ(ハンダ付け)
12	1										工程15へ(洗浄と吸引)
13	0							STOP			
14	0										
15	1						OUT				洗浄と吸引
16	2							STOP			
17	0										
18	3										ハンダ付け
19	4						OUT				
20	2							STOP			

18

パレタイズ用途

シュートから送り出されるワークを、グリッパで掴み、12×20マスのパレットに整列させていきます。



垂直軸に電動グリッパを取付けた例

プログラミング工数

約 **30分**

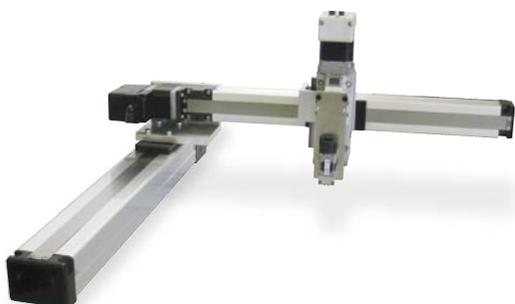
メイン9ステップ、サブ5ステップ、全14ステップで12×20マスのプログラムが可能です。

▼CTC プログラム

工程	ポイント	作動軸	作動軸	作動軸	PFIN	IN	TIME	OUT	END	戻り	飛び越し	コメント
00	0								GO			ホームポジション
01	3											ワーク置き位置記憶
02	0											
03	0											ワーク掴みサブプログラムへ(10)
04	0											ワーク置きサブプログラムへ(13)
05	E											20行繰り返し
06	E											12列繰り返し
07	3											
08	0								STOP			
09	0											
10	1											ワーク掴みサブプログラム
11	1							OUT				
12	0								STOP			
13	1							OUT				ワーク置きサブプログラム
14	0								STOP			

誰もが“かんたん”に使える組合せ！

直交型



Z軸 最大可搬重量：2kg

ストローク組み合わせ（単位：mm）

X: 100 200 300(700)
Y: 100 200 300
Z: 50 100 150

	X軸	Y軸	Z軸
繰り返し位置決め精度	±0.02mm	±0.02mm	±0.01mm
駆動方式	ボールネジ	ボールネジ	滑りネジ
ネジリード	12mm / 6mm	12mm / 6mm	6mm
最高速度	600 ~ 250mm/sec	700 ~ 340mm/sec	300mm/sec
動作範囲	50 ~ 700mm	50 ~ 500mm	50 ~ 300mm
ロボットケーブル			
コントローラ	CTC-67、CTC-77		

※ Y軸には、必要に応じて補助ガイド等の設置が必要になります。

デスクトップ型



X軸 最大可搬重量：5kg

X軸、Y軸 最大速度：700mm/sec

ストローク組み合わせ（単位：mm）

X: 100 200 300
Y: 100 200 300
Z: 50 100 150

	X軸	Y軸	Z軸
繰り返し位置決め精度	±0.02mm	±0.02mm	±0.01mm
駆動方式	ボールネジ	ボールネジ	滑りネジ
ネジリード	12mm	12mm	6mm
最高速度	700 ~ 680mm/sec	700 ~ 680mm/sec	300mm/sec
動作範囲	50 ~ 500mm	50 ~ 500mm	50 ~ 300mm
ロボットケーブル			
コントローラ	CTC-67、CTC-77		

X軸 水平方向可搬重量：10kg

X軸、Y軸 最大速度：400mm/sec

ストローク組み合わせ（単位：mm）

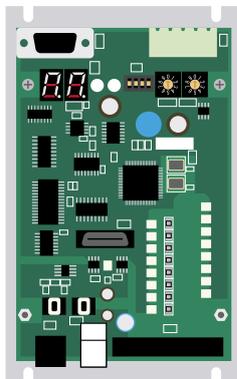
X: 100 200 300
Y: 100 200 300
Z: 50 100 150

	X軸	Y軸	Z軸
繰り返し位置決め精度	±0.02mm	±0.02mm	±0.01mm
駆動方式	ボールネジ	ボールネジ	滑りネジ
ネジリード	6mm	6mm	6mm
最高速度	400 ~ 340mm/sec	400 ~ 340mm/sec	300mm/sec
動作範囲	50 ~ 500mm	50 ~ 500mm	50 ~ 300mm
ロボットケーブル			
コントローラ	CTC-67、CTC-77		

かんたんコントローラ CTC-67 CTC-77

誰もがかんたんに使えるかんたんコントローラです。
 外部 I/O だけの制御から、最大 8 軸のサーボモータ、メカシリンダが接続できます。
 外部 I/O で周辺機器類も同時に制御できます（はんだ付けユニット、ネジ締め機、他）。
 タッチパネルの接続も可能ですので、現場でのデータ修正もかんたんにできます。

かんたんコントローラ



CTC-77

タッチパネルメーカー各社の
機種に対応しています！

※対応機種は、お問い合わせ下さい。
 ※CTC-77のみタッチパネル対応。



システム型式	CTC-67-SET	CTC-77-SET
プログラム制御方式	ストアード・プログラム 工程歩進式	ストアード・プログラム 工程歩進式
プログラム容量	100 工程	256 工程
最大制御軸数 / 最大位置決め点数	8 軸 / 128 点 (各軸 16 点 × 8 軸)	8 軸 / 128 点 (各軸 16 点 × 8 軸) ※1
入力点数	標準 (コントローラ本体)	専用 2 点 (SQSTR、SQSTP)、汎用 6 点
	拡張 I/O ユニツト装着時	専用 2 点 (SQSTR、SQSTP)、汎用 16 点
入力信号電流	約 3mA	約 3mA
出力点数	標準 (コントローラ本体)	専用 2 点 (SQFIN、ALM)、汎用 6 点
	拡張 I/O ユニツト装着時	専用 2 点 (SQFIN、ALM)、汎用 16 点
出力最大負荷	30mA / 点 (出力電流総和 2A / ユニツト)	300mA / 点 (出力電流総和 2A / ユニツト)
コントローラ電源	アクチュエータから供給	DC24V -30%、+15% 0.5A (MAX)
I/O 電源	DC24V -30%、+15%	DC24V -30%、+15%
タッチパネル接続	—	接続可能 ※2

※1 拡張機能の設定で最大 256 点 / 軸まで拡張可能。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※2 対応タッチパネル機種は、お問い合わせ下さい。

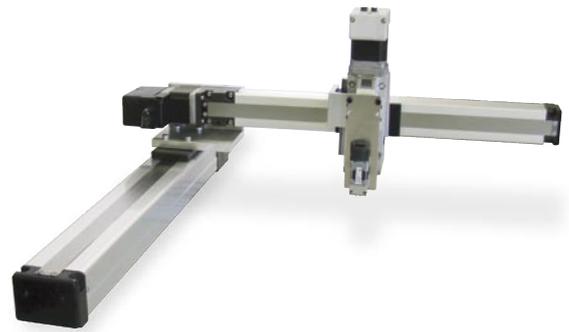
ビジュアルシーケンス編集ソフト CTC ツール

かんたんコントローラ用のプログラミングソフト CTC ツールは、ラダー言語や特殊なプログラム言語を必要とせず、パソコンのマウス操作によるアイコンのドラッグ & ドロップ操作だけでプログラムが作成できます。



構成図 〈3軸構成例〉

CTC ツール



PCのシリアルポートへ接続
 ※USBポートに接続の場合は、USBシリアル(RS232C)変換機をご用意下さい。
 一例：
 ラトックシステム REX-USB60F
 エレコム UC-SGT
 サンワサプライ USB-CVRS9

タッチパネル

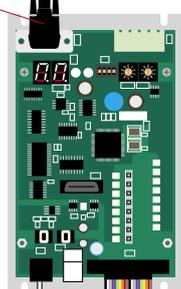


※CTC-77のみ、タッチパネル接続可能。

インターリンクケーブル
 ※CTC-77に付属 (1m)

差し替える

CTC-67 CTC-77

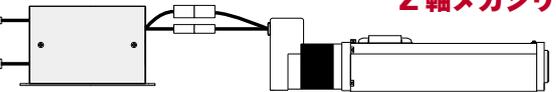


ADPケーブル
 RP9050-***

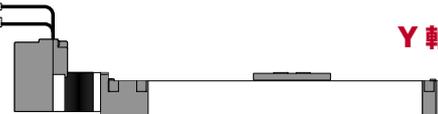
コネクタ変換機
 ADP-2-4

SIOケーブル (6極)
 RP9041-***

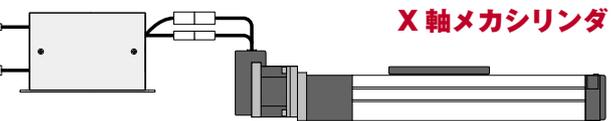
Z軸メカシリンダ



Y軸メカシリンダ



X軸メカシリンダ

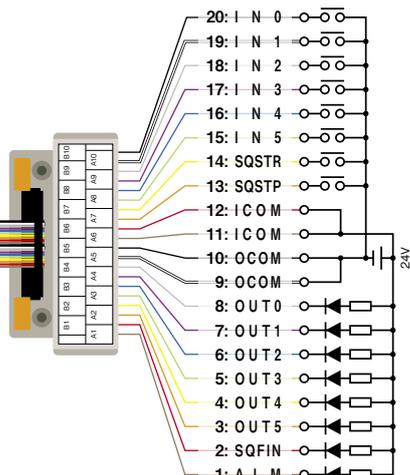


シリアル通信用パラレル接続ケーブル
 RP9103-*** 又は、RP9123-***
 (RP9100-*** 又は、RP9120-*** も使用可能)

24V
電源

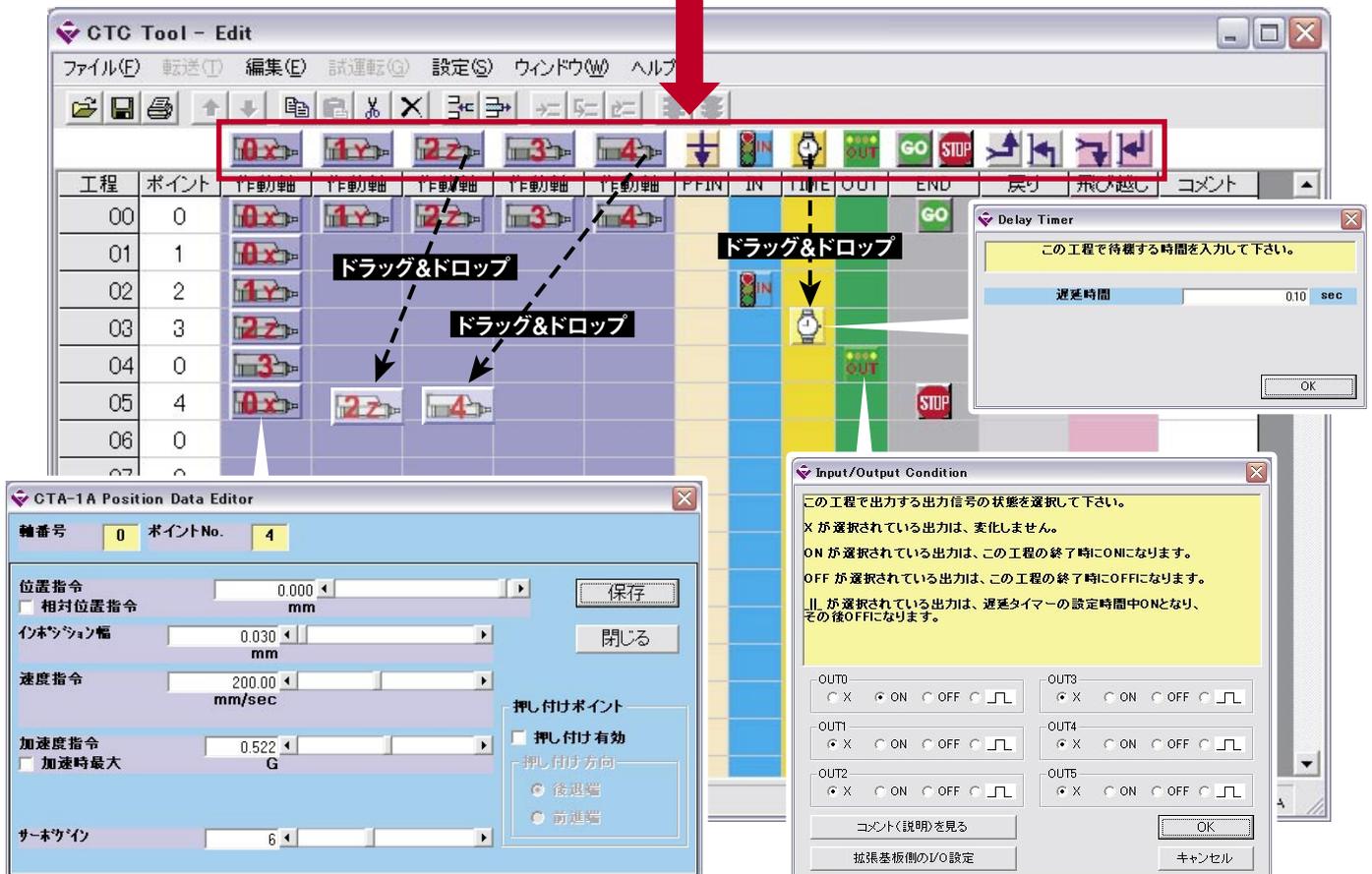
RP9170-***

周辺機器に接続

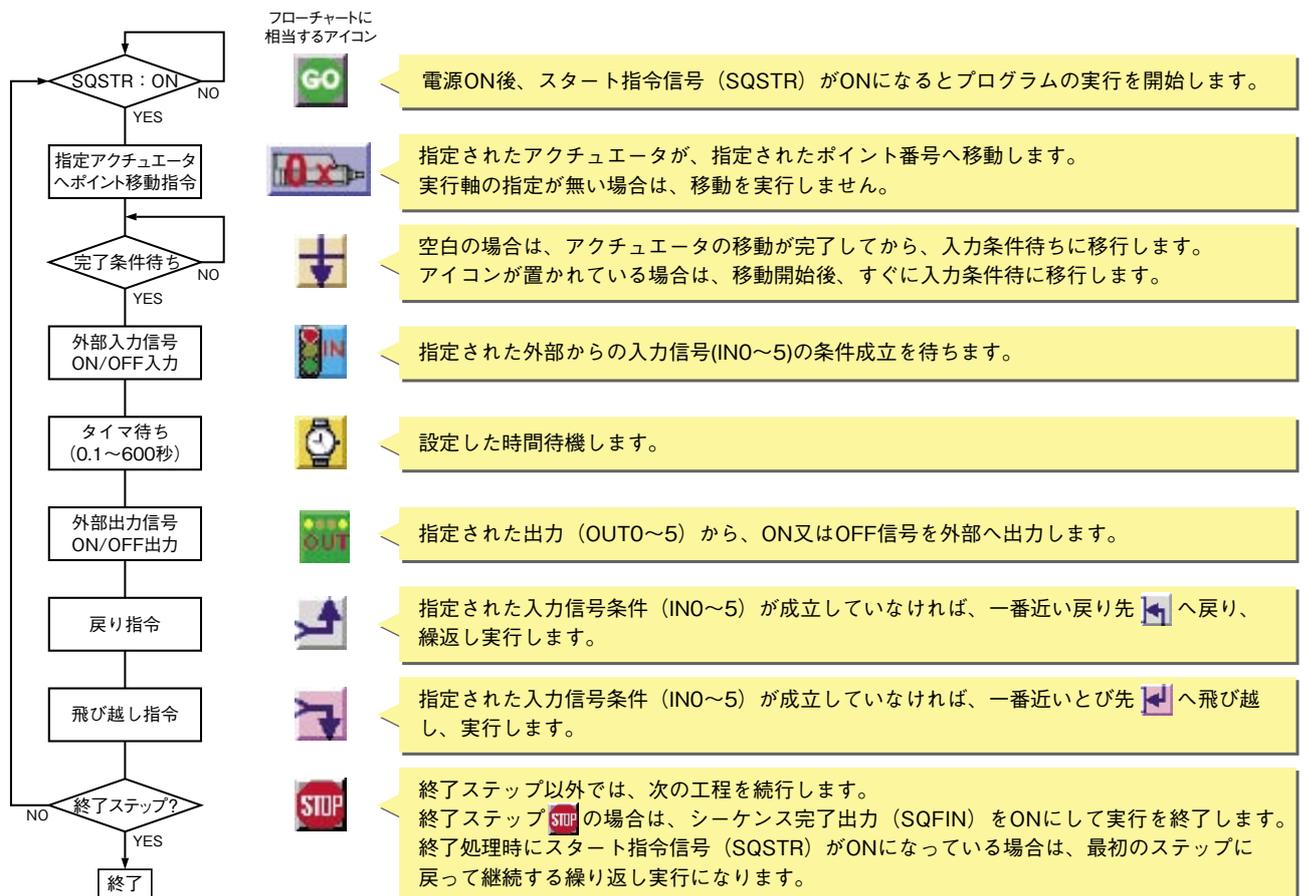


※ CTC-67 / 77 は、メカシリンダやサーボモータを最大8軸まで制御可能です。

これらのアイコンを使用する工程までドラッグする!



1工程は、下記フローチャートの様に実行されます。



ダイアディックシステムズでは、本書でご案内しました、かんたんコントローラやメカシリンダの説明及び空圧機械とサーボモータ機械に関する相談会の開催を随時行っています。

下記の申込書に必要事項をご記入の上、弊社迄 FAX にてお申込み頂ければ、折り返し、担当者よりご連絡させていただきます。

説明 / 打合せ訪問及び相談会開催 申込書

このページをコピーしてお使いください。

送信先 **FAX: 076-267-9104**

ご希望されるものの□に を入れて下さい。全てでもかまいません。

<input type="checkbox"/> デモ機を持参して、説明に来て下さい。	<input type="checkbox"/> 打合せに来て下さい。	<input type="checkbox"/> 空圧機械とサーボモータ機械相談会を希望します。
---	-------------------------------------	--

貴社名			
申込者氏名	様	部署名	
住 所	〒		
TEL:	FAX:		
E-mail:	@		
備 考			



メカシリンダやケーブル等の仕様は、総合カタログ又は、弊社ホームページにてご確認ください。

総合カタログダウンロードページ

http://www.dyadic.co.jp/jp/download_more_cat.html

 **Dyadic Systems Co.,Ltd.**

株式会社 **ダイアディックシステムズ**

〒920-0342 石川県金沢市畝田西二丁目160番地
TEL. 076-267-9103 FAX. 076-267-9104
埼玉営業所 TEL. 048-575-5575 FAX. 048-575-5573
大阪営業所 TEL. 06-6350-0178 FAX. 06-6350-0129
E-mail: info@dyadic.co.jp
URL: <http://www.dyadic.co.jp/jp/>

ダイアディックシステムズ ホームページ

メカシリンダ

検索

お問合せ（販売店印）